

# 第 1 回新潟大学数理統計セミナー「実務と数理科学」

---

日時：平成 20 年 10 月 17 日（金）15:00-17:00

会場：理学部 A 棟 523 室

I 15:00~ 16:00 白石 博（早稲田大学基幹理工学部応用数理学科・助教）

「保険業界における数学の活用」

保険業界において、数学を活用する代表的な職種として、アクチュアリーが挙げられます。アクチュアリーとは、一言で表現すると、「確率・統計などの手法を用いて不確定な事象を扱う数理のプロフェッショナル」です。確率論・統計学などの数理的手法を活用して、主に保険や年金に関わる諸問題を解決し、財政の健全性の確保と制度の公正な運営に務めることを主な業務とする専門職です。国際的な専門職として広く海外でも知られ、各国の企業からも高く評価されています。アクチュアリーは、主に保険会社や信託銀行、官公庁などに所属して、保険や年金の料率設定、決算などに関わる保険数理・年金数理業務をはじめ、商品開発、リスク管理分析、長期計画の策定などに携わっています。また近年は、コンサルティング会社に所属し、保険会社などに対してコンサルティングを行うアクチュアリーや、監査法人に所属し、中立的な立場から外部監査に携わるアクチュアリーも増加しています。本講演では、アクチュアリーが携わる業務の概要を紹介します。

II 16:00-17:00 塩境一仁（第一三共株式会社 データサイエンス部 統計解析グループ）

「製薬企業での統計学の役割」

以下の内容をお話いたします。

- ・製薬業界の現状
- ・医薬品が研究、開発され上市されるまでの流れ
- ・各段階での統計担当者の役割
- ・統計担当者に求められるもの